



ロータリーは  
分かちあいの心

国際ロータリー第2630地区

# 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2007～2008年度 高山中央RC会長テーマ

第736回「**力 協 心**」 H19・11・26

(点 鐘) 会長 松之木 映一さん  
(ソング) それでこそロータリー2番  
(出席報告)

本日の出席…36名 出席率…85.71%  
前々回の補正…36名 出席率…85.71%

(ビジター紹介)

高山ロータリークラブ 西野 徹様

(幹事報告) 幹事 永家 将嗣さん

◎ガバナー事務所より

・ロータリーレート変更のお知らせ  
12月1日から 1\$ = 112円

◎国際ロータリー第2630地区

ロータリー財団委員長より

・ポリオ撲滅2008年新春

チャリティコンサートのご案内

日時：2008年1月22日(火) 18:15～

場所：名古屋電気文化会館ザ・コンサートホール

入場料：3,500円

申込締切：12月20日(木)

\*ご希望の方は事務局までご連絡ください。

(高山市民憲章推進協議会より)

・歴史文化(観光)施設無料公開のご案内

期日：12月2日(日)

\*無料入場券が必要です。

(日東観光株式会社より)

・ロサンゼルス大会参加旅行募集案内

(会長の時間) 松之木 映一さん

《ちょっといい話》

ある御夫婦がレストランを訪れ、食事のオーダーをしました。「AセットとBセット一つ」ウェイトレスが注文を聞きその場を離れようとした時、夫婦はしばし顔を見合わせ「それとお子様ランチを一つ頂けますか?」と言いました。彼女はテーブルを見渡し「お客様誠に申し訳ありませんが小学生のお子様までと決まっていますのでご注文は頂けないのですか…」すると夫婦はにっこりほほえんで「それなら結構です」と言われたそうです。一部始終を見ていたマネージャーは彼女に成り行きを聞きました。マネージャーは「何故注文されたか聞きましたか?」と言い「確認していません」と答えた彼女に「もう一度聞いてください、そうすれば理由が分かるでしょう」と伝えました。

さっそく聞きに何うと夫婦は顔を見合わせ少し間をおいて話し始めました。「私どもには以前子どもがおりましたが幼くして亡くし、一度もディズニーランドへ連れて行くことが出来ませんでした。亡くしてからは何をやる気力も起きずただ呆然と毎日過ごしている内に気がつくや数年が経過しました。月日がたちようやく最近落ち着いたものですから、子どもの命日である今日親子三人で一日思いきり楽しもうとお邪魔しました。三人で一緒に食事しようと思って頼んだのです。ただもう、十分に楽しませていただきましたので…」そう言うのににっこり微笑みました。

彼女は深く頭を下げ、その足でマネージャーに報告すると聞き終えたマネージャーは、すぐさま「お子様ランチ一つ」とオーダーし、彼女に「お子様用イス」を用意させ「イスはお父さんとお母さんの間でよろしいですか?ではごゆっくりとお食事をお楽しみ下さい」とその場を去ったのでした。その場の状況をすぐさま判断し、相手に対して気を使う(心づかい)大切な事だと思います。

(本日のプログラム)

ロータリー情報委員長 島 良明さん

本日の例会は11月12日に山陣で行いましたIDMの報告を順番にさせていただきます。

新会員 三浦 和美さん

皆様今日は、いよいよあと数日で師走となります。

3年前の12月1日に店をオープン致しまして、何とか3周年を迎えることができます。3年目の節目に思いもかけず中央ロータリーのメンバーとして暖かく迎えて頂きまして誠にありがとうございました。

去る11月12日IDMに出席させて頂きました。

ロータリー情報委員長の島様をはじめ、会長、幹事、歴代会長、歴代幹事の皆様それぞれによるご講演をおよそ1時間に渡って頂戴致しました。

中央ロータリークラブの歴史、ロータリーとは?会員増強の意義など興味深いお話を聞かせて頂きました。

私なりにロータリーの一品としてこれからどうあるべきか、また新米経営者として、どうあるべきなのかなど、深く考える良い機会を与えて頂きました。

すべてはロータリー綱領の一項に集約されていると思われました。その内容は

1. 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。
2. あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。

創 立 1991年5月20日

- ◆例会日 / 毎週月曜日・PM12:30～
- ◆前会場 / ひだホテルプラザ3F・☎(0577)33-4600
- ◆事務局 / 高山市花園町1-15 丸越商事4F  
☎(0577)36-0730/FAX(0577)36-1488  
/ホームページ http://www.17.ocn.ne.jp/~1-c-rc/
- ◆会 長 / 松之木 映一 ◆幹 事/永家 将嗣

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1 真実か どうか
  - 2 みんなに公平か
  - 3 好意と友情を深めるか
  - 4 みんなのためになるか どうか

3.そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。

この3つの事を念頭におき、日々精進してゆけば、良き経営者として社会に受け入れられ、社員からも信頼されたいは良きロータリアンとして活躍の場を与えられるのではないかと思います。中央ロータリーの名に恥じぬよう益々精進して参りたいと改めて深く感じました。皆様今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。

#### 新会員 長瀬 栄二郎さん

皆様こんにちは 11月12日はロータリー情報委員会のIDMに出席させて頂きましたのでご報告申し上げます。当日は島委員長はじめ会長・幹事、歴代会長・歴代幹事にお集まり頂き、ロータリー情報の伝達という事で、皆様からお話を頂きました。私自身初めてのロータリー情報委員会であり、IDMでもありましたので「ロータリー情報」とはどのようなものなのか?「IDM」とは何をするものなのか?というなかでの参加となりました。

ロータリー情報とは、ロータリーについての知識と理解であり、IDMは少人数の集会で、新会員の同化と親睦を図る目的の会合であること説明をうけ、その上でロータリーの歴史としてポール・ハリス氏が仲間とロータリーを立ち上げた事や設立の趣旨、中央ロータリーの設立当時の経緯などについてお話を伺いました。また魅力ある組織としての活性化のため、会員増強が必須である事、職業分類に基づいた未充実業種の補充が必要である事など、お話を伺いました。

今回のIDMを通じてロータリーにおける奉仕の精神は、それぞれの職業に携わるものが、集い、研鑽しあう事で、自らの職業において、模範たる職業論理を實踐し、もっと社会に奉仕するものであると感じました。

奉仕の精神をもって日々自らの職業に取り組んで参りたいと思います。ありがとうございました。

#### (ロータリーの魅力) 平林 英一さん

ロータリーに対する魅力は個人差もあるが時代の環境によって著しく変わってきていると思います。平成3年にスポンサークラブとして、高山西ロータリークラブ、コスポンサークラブに高山ロータリーと下呂ロータリークラブのお力で、高山中央ロータリークラブは創立されました。私自身入会前の創立に向けてのときに、ロータリーへの期待が何であったかをふり返って考えてみました。

その当時私は40歳直前とはいえ、仕事上も少しは親から独立しつつ、自身が芽生えた頃だったと思います。中年後の仲間入りの中で、組織を通じて社会に奉仕貢献を大事にしなければならない時期であるし、正しい考えであるかわかりませんが、方法手段としてお金も必要であろうことも少しは理解していました。又、経済環境、仕事環境において恵まれた人との付き合いも楽しみに思っていました。それから16年、創立時のチャーターメンバーは41名でした。5周年、10周年、15周年、とかわかってきましたか、皆体型も、髪のもも薄くなり、変わりました。

次に平成12年度会員増強委員時での「ロータリーこれぞいいの?」の中央クラブのアンケートを考えてみたいと思います。その中で特に気になった事は、当地域社会でRCの存在を高く評価していると思う人が7%しかいない。

RCでの自主的寄付金を重荷に思っている人が76%、RCに自分の子どもを入れたいと思いが57%、退会しないと思ってしまう人が57%、ロータリーの魅力とこれではないデータでありました。創立時には考えられない

結果ではありましたが、予想はされていきました。経済不況がマイナス思考を生み、好況時であれば、逆の結果のような気がします。しかし、当中央RCはたのクラブより総合的に判断して素晴らしいクラブと思う人が87%ありました。職業上のモラル向上、個人的成長発展につながっていると思う人77%、ロータリアンである事に、誇りを感じている人が80%、素晴らしいクラブである事には変わりないと思います。今アンケートをとったらどうなる結果になるでしょうか。興味ありますね。

次にどうして我々は高山中央RCの会員に選ばれたのか。新入会員へのオリエンテーションロータリーへようこそその冊子によりますと、地域で職業を通じて評判の良い人、必ず例会に出席できる性格と健康の持ち主、自分の時間の裁量ができ、出席条件の整った人、人格の立派な人で社交性に欠けない事、地域で指導者たりえる意欲的な職業人で将来性のある人、奉仕活動に協力できる人、4つのテストの実行あるのみですね。

以上から考えますとRCの魅力はロータリアンの仲間とともに、家族、職場そして地域社会にどれだけかはいいい意味での存在感を作り出す場であり、親睦の機会を通じて楽しみながら人の輪を広げられる場であると思います。

#### (IDM報告書) 山本 辰男さん

今回の会は新会員お二人に対する情報提供を主とする開催でそれぞれテーマ別のレクチャーを行いました。

我々のロータリーの歴史や、ロータリーとはなんぞや、会員拡大増強の意義など私も聞いていてなるほどと思う大変有意義なお話を沢山聞けたIDMでした。

役割がそれぞれ揃っており平林さんと私の名前が無かったわけですが本日このような必要となっており、島委員長ありがとうございました。私は鶴田地区拡大増強委員長のお話されました事を中心にレポートしたいと思います。

まずロータリーの現状について今歯止めがきかない減少傾向にあり1966-07のピーク時より今年3月時30,228名、23.2%減の現象を踏まえなぜ減少(退会・入会減)なのか社会背景、又ロータリーの持つ特徴などの分析特徴など分析の上今後の活動、例会のあり様など丁寧に持ち時間を延長して少しはにかみながら真剣にお話されました。そして夜は更けて又いつもの鶴田さんに戻られてはっとしました。人間の二面性・多様性こそがロータリーの増強に最も必要な事なのかと感じました。

あと詳細につきましては例会の中でお話できればと思います。

\*ロータリーは輝きを失いつつある。(関心・情熱・愛情・自身・誇り) \*回避可能な退会。(馴染めない・楽しくない・確執・落胆・意識魅力の低下) \*入会3年未満の退会者が多い(情報・紹介者、情報委員、先輩のフォロー不足・良さを体得してない退会者は野に散つ) \*なぜ会員増強なのか(触れ合う摩擦熱で組織は活力や魅力を増す、組織の体力財政基盤を増す) \*女性会員の入会促進(定着率が高い・華やか・特性をいかす) \*情報提供機能の強化(100年の歴史・職業論理大切・奉仕・斬新しい自らを高める) \*例会を意義ある空間に(激励・祝福・ねぎらいの惜しみない拍手・卓話者の人選をよく吟味・心を癒す潤いと安らぎの空間・再生向上・思いやりに満ちた感動の空間) \*効果的対策(ロータリーそのものの充実・例会を重視し魅力あるクラブ作り・志の高いメンバーを育て地域社会に貢献)

【お詫び】紙面の都合ニコニコは来週号に掲載致します。

(会報委員会 渡辺 修治)